No. 246

共通テスト ULTIMATE CHEAT SHEET

共通テストリーディング80分の時間配分

時間切れの原因は「読む速さ」より「止まる場所」。大問ごとの目安、解く順番の2パターン、撤退ライン、マークの塗り方まで決めておく。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 配点の重い第5〜8問(計61点)に約50分を残す
2. 1問2分で決まらなければ仮マーク＋印で撤退
3. マークは大問ごとに塗る。最後の一括塗りはしない

まず前提:80分の中身

R7・R8本試験。配点は両年とも同じ。目安は編集部の基準(9割狙い)

大問	配点	目安	この時刻までに
第1問	6	3分	3分
第2問	12	6分	9分
第3問	9	5分	14分
第4問	12	7分	21分
第5問	16	11分	32分
第6問	12	11分	43分
第7問	16	14分	57分
第8問	17	15分	72分
見直し	–	8分	80分

図で一発:80分の時間配分(帯グラフ)



21・43・72＝冊子の余白に書くチェック時刻(9割狙い)

横幅＝時間。目安は編集部の基準。過去問で自分の時間を測って調整

時間配分は「止まらない場所」を決めること

R8の問題冊子は39ページ、英語は設問込みで約5,600語(編集部の概算)。1問に5分迷えば、後半の取れる問題を落としかねない。**時間配分とは「どこで止まらないか」を先に決めておくこと**。目安は過去問で自分の所要時間を測って調整する。

解く順番の2パターン

	A:前から順番	B:後半を先に
順番	第1問→第8問	第5〜8問→第1〜4問
向く人	時間内に最後まで届く人	いつも後半で時間切れになる人
利点	流れに乗りやすく、マークずれが起きにくい	配点の重い61点に頭が元気なうちに取り組める
注意	第1〜4問で時間を使いすぎない	マーク欄の位置を毎回確認。前半を急ぐことになる
チェック	21分で第5問・43分で第7問・72分で見直し	51分で第5〜8問終了・72分で第1〜4問終了

どちらにするかの決め方

過去問を両方のパターンで1回ずつ解き、**得点が高い方を本番の型にする(同点なら時間が余った方)**。直前期に型を変えると、時間の感覚が崩れる。決めたら本番まで同じ型で練習する。

目標点別の配分(目安)

7割狙いは見直しより「最後まで解き切る」ことを優先する

大問	7割狙い	9割狙い
第1問	4分	3分
第2問	7分	6分
第3問	6分	5分
第4問	9分	7分
第5問	13分	11分
第6問	13分	11分
第7問	14分	14分
第8問	14分	15分
見直し	0分	8分

◆ 撤退ライン：ここで切り上げる 5

☐ **1 1問2分ルール**
2分考えて決まらなければ、2択まで絞った方を仮マークし、設問番号に印をつけて次へ。戻るのは見直しの時間。

☐ **2 大問は目安＋3分が上限**
目安を3分超えたら、残りの設問は仮マークして次の大問へ。1つの大問に固執すると後半が総崩れになる。

☐ **3 完答問題で粘りすぎない**
並べ替えで迷ったら、確実な所から決めて全部仮マーク。印をつけて見直しで戻る。

☐ **4 未マークはゼロに**
答えないと0点。残り2分になったら、解けていない設問にも必ず何か塗る。

☐ **5 9割狙いは見直し8分を確保**
72分の時点で見直しへ。マークずれ・完答問題の点検は点に直結しやすい。7割狙いは完走を優先し、余った時間で見直す。

◆ 遅れた時の緊急プラン 4

☐ **1 遅れは分割して取り戻す**
1つの大問で一気に取り戻そうとせず、残りの2〜3の大問で1〜2分ずつ削る。焦って読み飛ばすと失点が増える。

☐ **2 残り20分で第7問の途中**
第7問は10分で切り上げ、第8問へ。第8問は問いを先に読み、各人の意見を問う設問から拾う。

☐ **3 残り10分で第8問が手つかず**
本文を全部読まず、問いごとに該当する人・資料の段落だけを読む。完答問題は最後に回す。

☐ **4 残り3分**
解いていない設問に全部マーク。2択まで絞れた物はそちらを塗る。空欄は確実に0点。

◆ 時間を食う原因と対策 5

☐ ~~× 本文を最初から全部精読~~
○ 設問を先に読み、根拠の行を探す
設問と関係のない所に時間をかけない

☐ ~~× 選択肢を何度も読み返す~~
○ 本文の根拠の行に線を引いて照合
根拠が見えていないと迷いが終わらない

☐ ~~× 知らない単語で止まる~~
○ 前後の文から推測して先へ
設問に関係しない語なら意味は要らない

☐ ~~× 第5問で資料を何度も行き来~~
○ 資料ごとの役割を2語でメモ
どの資料を見るかが決まれば往復が減る

☐ ~~× 見直しで全部解き直す~~
○ 印の問題と完答問題だけ見る
8分で全部は見られない

◆ マークの塗り方 5

☐ **1 鉛筆は黒鉛筆**
マークは黒鉛筆(H・F・HB)とプラスチック製の消しゴムで。シャープペンシルはメモ・計算用のみ(R8受験上の注意。最新版で確認)。

☐ **2 大問ごとにまとめて塗る**
1問ずつだと視線の往復が増え、最後の一括は時間切れで全滅の危険。大問が終わるたびに塗るのが安全。

☐ **3 解答番号と設問番号は別**
並べ替えは1つの設問に解答番号が複数ある(R8は解答番号1〜44)。大問の最初の番号を確かめてから塗る。

☐ **4 消す時はきれいに**
消し跡が残ると正しく読み取れないおそれがある。訂正は消しゴムで完全に消してから塗り直す。

☐ **5 順不同の問題**
「順序を問わない」問題もある(R8の正解表の注)。指示文の(The order does not matter.)を確認。

◆ 本番80分の動き 5

① **開始直後：時刻を書く**
冊子の余白に「21・43・72」のようなチェック時刻を書く。

② **各大問：設定文と問いから**
設定文と問いを読んでから本文へ。根拠の行に線。

③ **大問の終わり：マークと時刻確認**
塗ったら時計を見る。遅れていれば次の大問で取り戻す。

④ **72分：見直し**
マークずれ→完答問題→印の問題の順に点検。

⑤ **残り2分：未マークゼロ**
空欄が残っていないかを解答用紙で最終確認。

◆ 確認テスト

1 R7・R8本試験で、第5〜8問の配点の合計は？
a 39点　b 45点　c 70点　d 61点

2 1問で2分考えても決まらない時は？
a 仮マークして印をつけ次へ　b 大問ごと飛ばす
c 決まるまで考える　d 空欄のまま次へ

3 マークに使えるものとして受験上の注意に書かれているのは？
a シャープペンシル　b 色鉛筆　c 黒鉛筆(H・F・HB)　d ボールペン

4 見直しで最初に点検するのは？
a 本文の要約　b マークのずれ　c 第1問の読み直し
d 知らない単語

◆ 解答

1 61点 16＋12＋16＋17＝61
2 仮マークして印をつけ次へ 空欄は残さず、見直しで戻る
3 黒鉛筆(H・F・HB) シャープペンシルはメモ・計算用のみ
4 マークのずれ 1つずれると後ろが全部ずれる

参考資料 大学入試センター「令和8年度 本試験の問題」(英語リーディング問題冊子)／大学入試センター「令和8年度 本試験の正解」(配点)／大学入試センター「令和7年度 本試験の正解」(配点)／大学入試センター「令和8年度大学入学共通テスト 受験上の注意」／原田英語「共通テスト英語 時間が足りない5つの原因と即効テクニック」